

## 平成 29 年春期 プロジェクトマネージャ試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2017,6,21

4 月 16 日 (日) に行われた平成 29 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、プロジェクトマネージャ試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■プロジェクトマネージャ試験 (PM)

[平成 29 年春期のプロジェクトマネージャ試験 統計情報]

応募者	18,291 人
受験者	11,596 人
合格者	1,521 人
合格率	13.1%

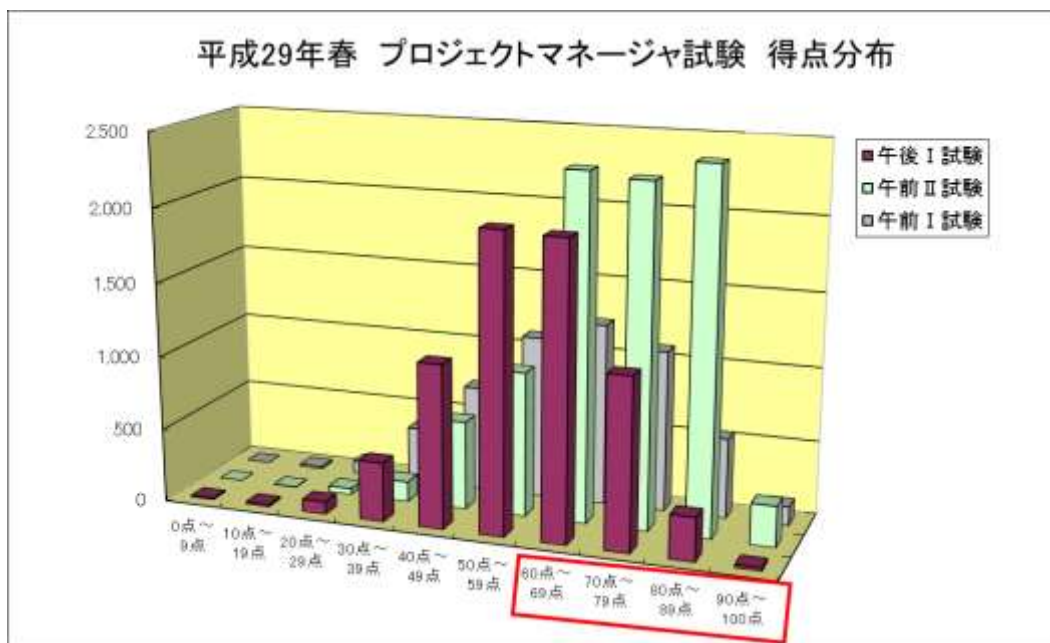
平成 29 年春期のプロジェクトマネージャ試験の合格率は 13.1% で、前回の 14.5% より若干減少しました。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成 29 年春 プロジェクトマネージャ試験 スコア分布]

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	0	0	10	D 522	
10 点 ~ 19 点	17	3	17		
20 点 ~ 29 点	89	40	85	C 481	
30 点 ~ 39 点	378	138	403		
40 点 ~ 49 点	713	601	1,104	B 892	
50 点 ~ 59 点	1,102	978	1,998		
60 点 ~ 69 点	1,230	2,320	1,979	A 1,521	
70 点 ~ 79 点	1,089	2,281	1,152		
80 点 ~ 89 点	541	2,412	294		
90 点 ~ 100 点	129	276	22		
計	5,288	9,049	7,064	3,416	1,521
対前試験比率		171.1%	78.1%	48.4%	44.5%
午前 I 免除者概算	6,308	54.4%			

合格者数	1,521	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	2,989	56.5%	1,468
午前 II 60 点以上合計	7,289	80.6%	5,768
午後 I 60 点以上合計	3,447	48.8%	1,926
午後 II -A 評価	1,521	44.5%	0



新試験制度で春期の試験で午前 I 試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 6,308 人 (54.4%) おり、受験者の 5 割以上が午前 II からの受験となっています。

得点分布を分析してみると、高度系共通の午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の人は 2,989 人 (受験者の 56.5%) で、この結果は前回の 68.7% に比べてかなり減少しています。また、午前 II 試験で基準点以上の人は 7,289 人 (受験者の 80.6%) で、前回試験の 76.9% から 4% ほど増えています。問題の難易度は前回と大きく変わっていないと思われるので、試験対策がよく行われた結果と考えられます。

午後 I で基準点 (60 点) 以上の得点者は 48.8% で、前回試験の 55.4% に比べて減少しています。また、午後 II で合格点の A 評価だった人は 44.5% で、前回試験の 41.9% と比べてこちらは若干増加しています。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、次回試験の対策として、専門知識分野で「午前試験で出題される知識の理解度をまず上げる」、その次に、「午後試験で必要とされている知識を題材として、さらに深く学習する」のがよいでしょう。

高度系試験は午後試験対策が合格の鍵を握っています。受験される方は、次回試験に向けて早めに対策を始めてください。

## ■平成 29 年春期 プロジェクトマネージャ試験の出題内容について

### (午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

・高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれています。今回の問題内容は、計算問題が 2 問 (前回 5 問) と減りましたが、基礎理論の考察問題が例年どおり少し難しいことから、全体に少し難しく感じた受験者が多かったと思われます。

- ・過去問題の比率は約 6 割で従来どおりの比率です。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容 (中分類) からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視した出題になっており、出題数は前回と同じ 4 問でした。

・新傾向問題は次の4問で、前回より増えています。システム開発分野の問題で、アジャイル関連の内容は、そろそろ定番化してきているといえます。

(新傾向問題)

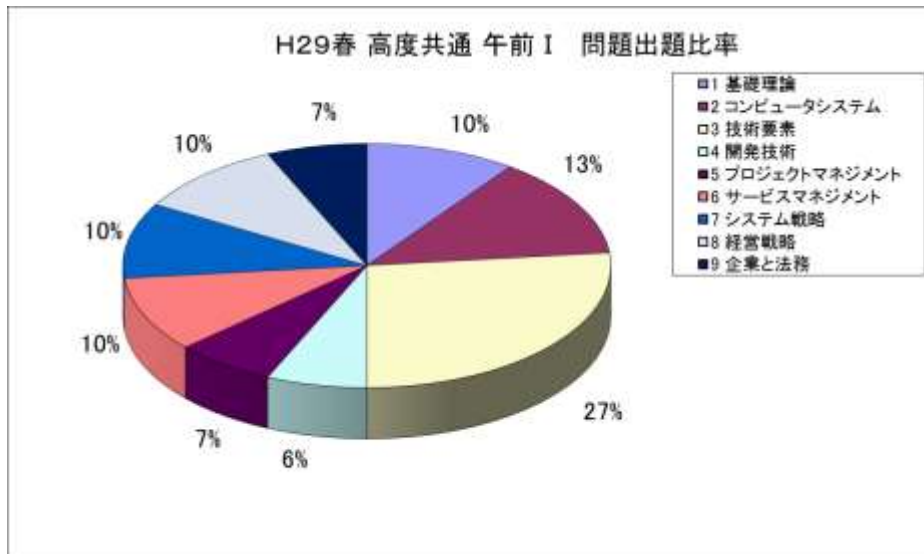
問 11 OpenFlow を使った SDN の説明

問 14 サイバーセキュリティ経営ガイドラインの説明

問 17 アジャイル開発で“イテレーション”を行う目的

問 26 浸透価格戦略の説明

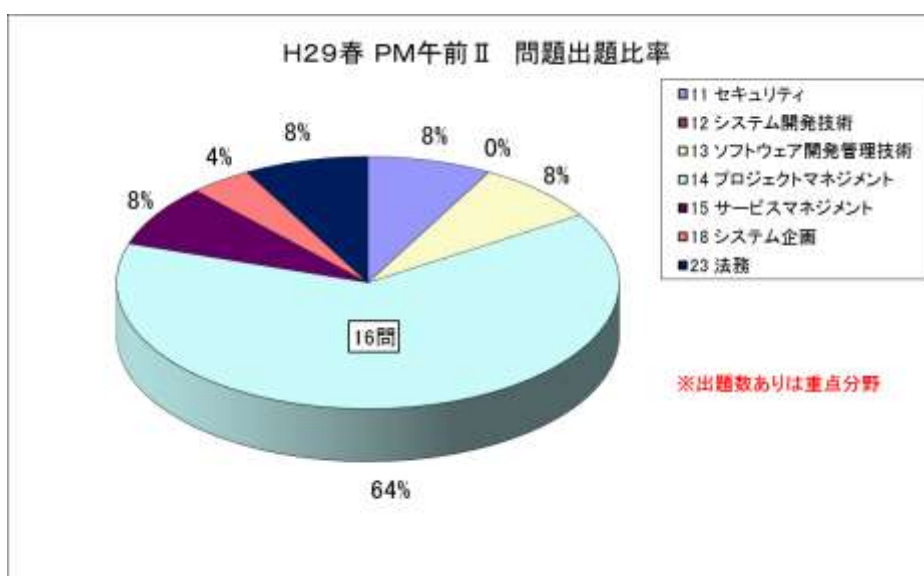
#### 平成 29 年春期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



#### (午前 II の専門知識問題)

午前 II 試験では、専門分野のプロジェクトマネジメント (PM) 分野で前回より 1 問多い 16 問出題されています。PMBOK と明記した問題は今回 3 問で、前回の 5 問から減りました。また、セキュリティ分野からの出題数は前回同様 2 問でした。

#### 平成 29 年春期のプロジェクトマネージャ試験 午前 II 問題出題比率



新傾向問題としては、次の3問が挙げられます。

問7 タックマンモデル

問10 PDMによる開発プロジェクトの最少所要日数

問11 アジャイル型開発プロジェクト管理のベロシティ

次に、午後Iと午後II試験の分析結果をお知らせします。

#### (午後問題)

・午後I問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。前々回の試験から、午後I試験は出題数が3問に減り、選択の幅が狭くなりましたが、問題テーマは全体に分かりやすく、一部に絞り込まれた状況設定の設問がありましたが、全体に解答しやすい内容でした。

問1 製造実行システム導入プロジェクトの計画作成(製造業向けS I企業) 普通

製造実行システムの機能, プロジェクト計画, 概略スケジュール, リスク対応計画, 要件定義, 重要課題, 要員管理, リスク源, リリース先送り理由

問2 サプライヤへのシステム開発委託(システム) 普通

サプライヤ選定, 契約の交渉, 開発条件の調整, 内部設計の状況, サプライヤのメリット, 新案件の制約条件, 必要作業, 請負契約の活動, 契約の発注側注意事項, レビュー報告

問3 単体テストの見直し及び成果物の品質向上(システム) 普通

設計方法, 製造・テスト方式, 単体テスト実施方針, テストの実施状況, 結合テストケース作成時期, テスト技法, テスト完了後の評価, バグ密度, 遅延リスク, 追加レビュー

・午後IIの論文問題の出題分野とテーマは次のとおりです。

前回の試験から、午後II試験は出題数が2問に減り、論文テーマも選択の幅が狭くなりましたが、今回は2問ともオーソドックスなテーマでした。

問1 システム開発プロジェクトにおける信頼関係の維持・構築について

プロジェクトの特徴, ステークホルダ, 信頼関係構築の理由, 構築の取組み・維持, 工夫点, 信頼関係が解決に貢献した問題, 果たした役割, 今後の改善点

問2 システム開発プロジェクトにおける品質管理について

プロジェクトの特徴, 品質面の要求事項, 品質管理計画策定, 品質管理計画, 品質管理の実施, 考慮点と関係が深い工程, 管理計画の内容評価, 実施結果の評価, 今後の改善点

### (今回合格された人)

今回見事合格された方で、17 秋期試験で情報処理安全確保支援士・ネットワークスペシャリスト・IT ストラテジスト・システムアーキテクト・IT サービスマネージャの試験合格を目指す方は、午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識について、なるべく早く試験対策を開始してください。まずは各試験の専門分野の基本的な問題（応用情報技術者試験の問題）から解いてみましょう。

高度系種別を受験するにあたっては、出題範囲を網羅した通信教育の『午前Ⅰ免除コース』がおすすめです。基礎から段階的に知識の積み上げを行いたい方には「書籍」「WEB 教材」「WEB テスト」「公開模試」の合格のために必要な知識を体系立てて身に付けることが可能なコース学習『スタンダードコース』がおすすめです。

その他、学習にあたっては、午前試験対策に重点をおいた『宿題メール』。午後試験対策には、受験対策のプロ講師から直接学べる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。午前Ⅰが免除になり、かつこれまでの学習で身に着けた知識が鮮明なうちに次の資格試験にチャレンジすることが、合格への近道です。次のステップアップを目指しましょう。

### (今回残念ながら不合格だった人)

まず、午前Ⅰの試験で 50 点に満たなかった人は、自分がよく理解していない内容について早めの学習が重要です。時間のない方は、「応用情報・高度共通 午前試験対策」の書籍を活用し出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。

今回の午前Ⅰ・Ⅱ試験の得点が 50 点～59 点だった方は、合格ラインまで“あと一歩”のところまで実力がついていきますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。

午後試験の得点が 60 点未満だった方は、まず午前Ⅱの「専門知識」の内容に関して、試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受験するなど、本番を想定した学習を行うが効果的です。

再受験のための学習にあたっては、弱点補強中心に学習を行いたい方やすでに教材をお持ちの方はトレーニング問題とポイント解説、午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの『プラクティスコース』、講師から直接指導を受けることでその場で自身の弱点分野を把握、克服ができる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』がおすすめです。

その他、各種豊富な学習メニューを用意しております。

<http://www.itec.co.jp>